

日光医療センター通信

～いろは～



獨協医科大学日光医療センター
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

第

48

号

2024.1



霧降の滝（栃木県日光市）

主な内容

| | |
|------------------|---|
| 診療紹介（救急・総合診療科） | 2 |
| 部門紹介（リハビリテーション部） | 3 |
| 外来担当医一覧 | 4 |
| 足尾双愛病院 | 5 |
| 〇〇〇〇／求人情報 | 6 |



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

▶ 救急・総合診療科

日光医療センター救急・総合診療科は、2023年1月4日の新病院移転と同時に新規開設された診療科です。大学病院に多く見られる専門外来とは違い、複数の科にまたがって横断的に診断、治療を行っている診療科です。主に診療科メンバーは若手の医師で構成されており、専門分野によらない総合的な内科力の高い医師を育成することも目的としております。

また、診療科メンバーの中には獨協医科大学病院総合診療科、獨協医科大学病院救急救命科からの派遣医師も含まれていることから、より高度な医療設備や検査が必要な場合は、獨協医科大学病院や、その他高次医療機関とも連携して患者診療にあたっております。

当院における救急・総合診療科の役割としては、外来においては、まだ診断のついていられない「症状」で受診された患者の診察を行い、問診・諸検査の結果から診断がつく場合は、その適切な診療科への橋渡しをするような役割を担っております。また、一般内科領域の疾患に関しても当科外来にて診療を行います。

市中肺炎や尿路感染症などの一般内科領域の入院加療も行っており、必要に応じて他科との連携をとりながら、患者様への診療にあたっております。

また、救急医療との関わりとして、2023年10月から本格始動した、高度治療室（ハイケアユニット：最大4床）にも携わり、重症患者管理なども行っております。

まだ出来て新しい診療科ですが、地域医療へ貢献していきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶ リハビリテーション部

リハビリテーション部は理学療法士18名 作業療法士3名 言語聴覚士2名で構成し、疾患ごとに部門を分けて対応しております。リハビリ室は1階西側に位置し、新病院では新たな機器も取り入れて、広々とした空間でリハビリに励んでいただけます。受付は中央にございますため、外来患者様は入口よりお気軽にお入り下さい。下表の通り外来におきましては引き続き感染拡大予防のため時間を限定し対応しております。ご不便お掛けいたしますが何卒ご了承願います。

入院・外来ともに患者様の早期回復を目指し、スタッフ一同、技術の向上に努めております。新設された高度治療室（HCU）におきましても、筋力の低下を予防し生活機能を損なわないようにするために、スタッフを配置し早い段階から起きて立つ練習やベッド上での運動などをおこなっております。スタッフは各種専門資格を多数有しており、リハビリ室内入口廊下に掲示してございますので是非ご覧下さい。当施設は、特に手のけが、スポーツ傷害、心臓や肺・糖尿病などの内科疾患、パーキンソン病などへのリハビリが充実しているのが特徴でございます。

病院機能評価（日本医療機能評価機構）ではリハビリに関する小項目において最高位のS評価を頂きました。今後も質の高い最新のリハビリを安心・安全に提供出来るよう努めて参ります。リハビリ全般に関してご不明・ご不安な事がございましたら、お気軽にお声がけ下さい。

外来リハビリ開始時間（リハビリは20～60分程度のお時間を頂きます）

| | 午前 | | 午後 | |
|----------|-------------------------------|--|---------------|-------------|
| 運動器リハビリ | 10：20～11：40 | | 13：00～14：40 | 16：20～17：00 |
| 脳血管リハビリ | 10：20～11：00 | | | |
| 呼吸器リハビリ | 10：20～11：40 9：00～10：00（土曜） | | 13：00～15：00 | |
| 心・血管リハビリ | 10：30開始 | | 13：00、13：30開始 | |

※スムーズな受診の為に、予約でのご対応をお願いいたします。

特定医療法人 双愛会 足尾双愛病院

病院長 赤松 郁夫



足尾双愛病院は、日光市に合併する以前から足尾町の医療と、周辺病院から移られた高齢者医療に携わってまいりました。現在も、地域医療を担うものとして、高齢者を中心に併設する介護施設と連携して過疎地の医療を守っております。

病院開業早々から院長を務める赤松郁夫は、関東3県に渡って病院を運営する特定医療法人双愛会の理事長を務めておりますが、住民から足尾の赤ひげ先生とも言われ、地域医療一筋に足尾のひとりの医師を全うしております。余暇はすべてゴルフです。下手の横好きと言われようと、医一グル会と冠した上都賀郡市医師会北部医師団の先生方との語らいが、医師仲間の団結を維持するつながりであって、その趣味と実益を求めて欠かさず出かけています。

協医科大学日光医療センターは、新たな地に場所を定め、日光市周辺の急性期患者や周辺病院の拠り所として早や1年になろうとしております。最新鋭のスタッフ・設備を備えた獨協医科大学日光医療センターは、当病院の後方支援病院として重要な位置にあり、心強い病院です。

地域医療計画においても個々の病院の協力は計画の根幹をなすものであり、自病院のポストアキュートにとどまっている病院も、医療必要度の高い病院との連携強化を問われております。また、保険医療面でも回復期病床の重要性と、紹介率・逆紹介率を高めることが的確な医療と位置付けられ、今後ますます病院間の連携は重要とされております。過日、お伺いして、このことを医療機能のキャッチボールと唱えて、当院も連携医療施設としてご活用くださいとお願いさせていただきました。

足尾町も、最盛期人口38,000人いた住民が、今は1,500人です。自然の移ろい、銅山産業の残滓となっていた山肌は、材料とする樹木の伐採で露になっていましたが、多くの方々の植林努力により、今は豊かな緑に覆われています。へき地医療の確保が地域医療計画や日光市の過疎地域持続的発展計画でもうたわれておりますが、山の緑同様、地域高齢者の生活を豊かにするためにも、今後は在宅医療を強化し、寄り添う医療を続けてまいります。

獨協医科大学日光医療センター地域連携・入退院支援センターには一層のご協力をお願い申し上げます。



当センターと一緒に働いてみませんか？

**医師事務作業補助者
募集中**
(パートタイム)

詳細なお問い合わせは下記まで
TEL 0288-23-7000 (内線 3204)

編集後記

11月は別名 霜月（しもつき）と呼ばれ、文字通り寒さを感じる季節となりました。各地で紅葉が見ごろを迎え、先日霧降の滝へ紅葉狩りに出かけました。急な石畳を下ると色鮮やかな木々の隙間から瀑声が響き、情緒あふれるひと時を過ごすことができました。

また、秋といえば、食欲の秋で新蕎麦も楽しみの1つです。日光での日が浅いので、皆様のおススメを是非、教えていただきたいです。厳しい冬に向け、コロナウイルスにも負けない身体づくりを行っていきましょう。 (K.S)

日光医療センター通信 ～いろは～ 第48号

〒321-1298 栃木県日光市森友145-1 TEL 0288-23-7000 (代表) FAX 0288-23-5000

<https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/>

発行年月日／令和6年1月00日

編集・発行／獨協医科大学日光医療センター
広報・マーケティング委員会

印刷／(株)松井ピ・テ・オ・印刷

看護師募集サイトはこちら

<https://www.dokkyomed.ac.jp/>

[nmc/recruit-nurse/](https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/recruit-nurse/)

または、右記のQRコードを読み取り
アクセスして下さい。

